Be a Great Small.
中小機構

News Release

2024年7月5日
独立行政法人
中小企業基盤整備機構

カーボンニュートラルを中小企業経営に生かす
「脱炭素経営推進セミナー」福島県郡山市で7月25日に開催

中小機構（独立行政法人中小企業基盤整備機構）東北本部は、カーボンニュートラルをテーマとした「脱炭素経営推進セミナー　～カーボンニュートラルの潮流に乗るために～」をビッグパレットふくしま（福島県郡山市）にて7月25日（木曜）に開催します。

第1部では、企業等が脱炭素（カーボンニュートラル）に取り組む意義や実践ポイントを解説し、具体的な取組事例の発表も行います。また、動向調査結果や省エネルギーに関する補助金等を紹介し、カーボンニュートラルを経営に生かすための情報をお伝えします。

第2部では、個別相談会を実施し、カーボンニュートラルに取り組む際の課題に対して専門家等がアドバイスを行い、企業における脱炭素経営の推進をサポートします。

【開催概要】

・名　称：脱炭素経営推進セミナー～カーボンニュートラルの潮流に乗るために～
　（第1部）カーボンニュートラルに関する講演、事例発表、施策説明等
　（第2部）個別相談会
・日　時：2024年7月25日（木曜）
　（第1部）13時15分～16時00分
　（第2部）16時00分～16時45分
・場　所：ビッグパレットふくしま（福島県郡山市南2丁目52番地）
・対象者：カーボンニュートラルやSDGs等に関する施策提供・支援を行う公的機関・団体・支援機関、同分野に関心のある中小企業等

＜独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）＞

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

＜本件に関する問い合わせ先＞
独立行政法人　中小企業基盤整備機構　東北本部　企業支援部　企業支援課（担当者：小宮山）
住所：宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6番地1号　仙台第一生命タワービル6階
電話：022-716-1751（ダイヤルイン）

Be a Great Small.
中小機構

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

脱炭素経営推進セミナー

Carbon Neutrality

～カーボンニュートラルの潮流に乗るために～

●近年では、毎日のように脱炭素（カーボンニュートラル）に関するニュースが報道され、その流れは中小企業にも波及しつつあり、今後の中小企業経営には、品質（Q）、価格（C）、納期（D）のみならず、「脱炭素（CN）」が求められていくことが想定されます。

●本セミナーでは、「脱炭素（CN）」を自社の強みにし、カーボンニュートラルの潮流に乗るための情報を事例発表等を通じてお伝えします。

参加費 無料

日時 2024年 7月25日（木）

12:45開場

第1部 13:15～16:00

第2部 16:00～16:45

会場 ビッグパレットふくしま 中会議室A（3階）

［福島県郡山市南二丁目52番地］

定員 約70名（先着順）　現地開催のみ

申込方法

下記のURLまたは
QRコードよりお申込みください。

https://service.smrj.go.jp/cas/customer/apply/a6a40bbf8f3749c08301f5e186028cf1

申込締切　2024年7月23日(火) 17:00

～個別相談会（第2部）へのご参加を希望する方～
※お申込みフォームに参加希望の有無をご入力いただく箇所があります。※個別相談会には一部の後援機関もブースを設けますので、ご相談したい機関をご選択の上、相談内容をご入力ください。

カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」※から、植林、森林管理などによる「吸収量」※を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

※ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。

【主 催】独立行政法人中小企業基盤整備機構　東北本部　企業支援部　企業支援課

【後 援】福島県、国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所、公益財団法人福島県産業振興センター、一般財団法人省エネルギーセンター、一般社団法人環境共創イニシアチブ、一般社団法人カーボンマネジメントイニシアティブ、株式会社日本政策金融公庫福島支店、株式会社商工組合中央金庫福島支店、株式会社東邦銀行、株式会社福島銀行矢吹支店、白河信用金庫矢吹支店、株式会社帝国データバンク仙台支店

事例発表企業

「株式会社大和三光製作所」

～乾燥・熱処理技術のリーディングカンパニー～

創業1915年以来、最新の乾燥機・焼却炉の製作・製造に勤しみ、世界遺産「富岡製糸場」でも当社の乾燥機が使用されるなど、社会発展の一役を担ってきました。経営環境の変化が激しい近年においても、時代の潮流に乗るべく、2022年5月には再生可能エネルギーおよび水素関連産業に取り組むワーキンググループ「チームやぶき」に参画。今年4月には、当社内でもSDGs推進室を立ち上げ、脱炭素社会における当社のパーパスを明確化するとともに、CSR（企業の社会的責任）をSDGs視点で実践中です。

【本社】東京都新宿区西新宿2－1－1　新宿三井ビル43階
【福島工場・研究所】福島県西白河郡矢吹町堰の上351
【HP】https://www.yamato-sanko.co.jp/

株式会社大和三光製作所
代表取締役社長
大和 輝明 氏

プログラム概要

第１部	
13:15 – 13:20	〈主催者挨拶〉 中小企業基盤整備機構　東北本部長　矢内 友則
13:20 – 14:00	〈基調講演〉 **「中小企業が脱炭素経営に取組む意義～実践ポイント～」** 中小企業基盤整備機構 東北本部 中小企業アドバイザー　栗田 晃一
14:00 – 14:40	〈取組事例発表〉 **「SDGs・カーボンニュートラルを企業のパーパスに」** 株式会社大和三光製作所　代表取締役社長　大和 輝明 氏 営業部部長　橋本 建一 氏
14:40 – 15:00	〈質疑応答・休憩〉
15:00 – 15:15	〈データ紹介〉 **「カーボンニュートラルに関する動向を掴む」** 株式会社帝国データバンク　仙台支店　五十嵐 礼 氏
15:15 – 15:25	〈施策説明〉 **「省エネ診断・電力見える化について」** 東北経済産業局　エネルギー対策課　金子 雅紀 氏
15:25 – 15:35	〈施策説明〉 **「補助金を活用した省エネ課題の発見」** 一般社団法人カーボンマネジメントイニシアティブ 東北支部　高橋 杏奈 氏
15:35 – 15:50	〈施策説明〉 **「中小企業支援メニューのご紹介」** 中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援課課長　瀧口 勝久
15:50 – 16:00	〈質疑応答〉
第２部	
16:00 – 16:45	〈個別相談会〉

【照会先】　独立行政法人中小企業基盤整備機構　東北本部　企業支援部　企業支援課　小宮山
TEL：022-716-1751　Mail：komiyama-t@smrj.go.jp